

令和3年度 全国学力・学習 状況調査の結果

調査の概要

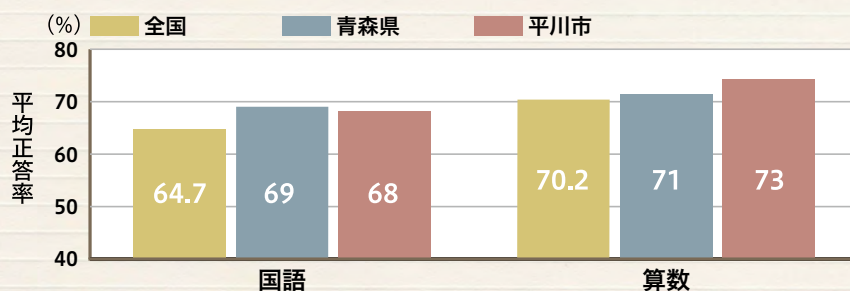
- 実施日／令和3年5月27日(木)
- 実施学年・人数／小学校6年生 市内9校 226人
中学校3年生 市内4校 256人
- 調査の内容
 1. 教科に関する調査
[小学校] 国語、算数 [中学校] 国語、数学
 2. 生活習慣や学習環境などに関する質問紙調査

2年ぶりに、本市全13校において、小学校6年生と中学校3年生を対象に調査が行われましたので、平川市の結果をお知らせします。

1. 教科に関する調査結果

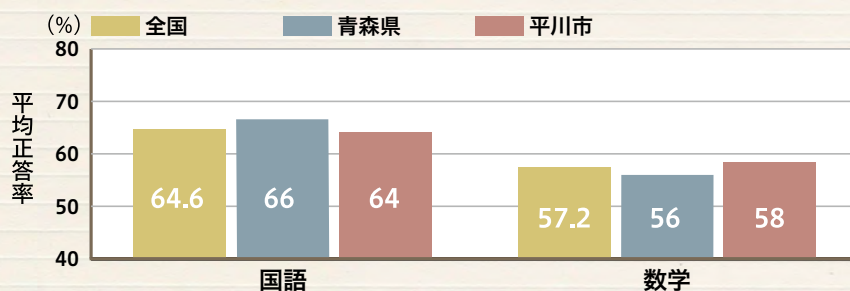
■小学校6年生

国語は全国平均を大きく上回り、算数は全国平均をやや上回っていました。
算数については、活用する力の伸びが見られました。



■中学校3年生

国語、数学ともに全国平均と同程度となりました。今後も、基礎・基本の確実な習得と、それを活用する力を身に付けさせる授業改善に取り組んでいきます。



2. 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果

質問紙による調査結果を、前回掲載した平成31年・令和元年の傾向【()で示しています】と比較しながら見ていきます。

■家庭学習が2時間未満とする小学生は83% (86%)と、全国平均73%と比べて学習時間が少ない傾向になっています。また、中学生は82% (85%)で、全国平均58%と比べ学習時間がかなり少なく、家庭学習の充実が急務です。



■新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、多くの学校が休校していた期間、規則正しい生活を送っていた小学生は70%と、全国平均65%より高く、中学生も52%と全国平均48%より高い値になりました。

■新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、多くの学校が休校していた期間、計画的に学習を続けることができた小学生は72%で、全国平均65%よりも高く、中学生も47%と全国平均38%より高い値になりました。

青森県の状況

■小学校

県全体では、国語が全国平均を大きく上回り、算数は全国平均と同程度になっています。

■中学校

県全体では、国語が全国平均をやや上回り、数学は全国平均をやや下回っています。

【問合せ】 教育委員会 指導課 ☎44-1111 (内線2293)